

2023年3月期 決算説明会 Q&Aサマリー

Q1:

中・韓・台の5Gスマホ関連の開発投資が減速傾向とのことだが、その中でも特にその傾向が強いところがあれば教えてほしい。

A1:

スマホの世界的な出荷台数の伸び悩みにより、中・韓・台での減速傾向は同様です。新たな規格のリリースや、インフレの鎮静化などにより、スマホの出荷台数が回復すれば、本格的な開発投資が再開するとみています。

Q2:

2023年度のモバイルの売上は2022年度に比較して、どのような見通しを持っているのか？

A2:

5Gスマホの開発投資は減速傾向が続いており、この傾向は上期も続くとみていますが、下期には、5G利活用分野の拡大なども含めて、計測需要の回復を見込んでいます。

Q3:

O-RANや固定ネットワーク分野への開発投資についての方針を教えてください。

A3:

開発投資は、無線・有線のバランス、市場規模や成長性を勘案して行っています。

Q4:

PQA事業が好調とのことだが、市場の背景を教えてください。

A4:

食品市場の品質保証プロセスの自動化、省人化を目的とした設備投資が堅調に推移しています。また、米州において、Global顧客から大型の受注を獲得したことも今回の業績に寄与しました。

Q5:

連結配当性向の目標を30%以上から50%以上に引き上げた理由を教えてください。

A5:

当社の場合、常に先端技術を獲得するための開発投資や成長のためのM&A投資を行っていく必要がありますが、同時に株主還元の強化も重要であると考えており、今回その方針を明確化するために引き上げました。